

生存のすべてを託す、一球のシュートもある。

スポーツマンたちは激しい練習に耐える。それは満足のいくプレーを行うためである。
自らが描いたイメージを、自らの肉体によって実現することが、
彼らの目標であり、彼らのよろこびでもある。
それが無為な行為だとしたら、ロマンと呼んでいいかも知れない。
それこそが、スポーツマンたちの生活そのものであるから。
「アディダス」ハンドボールウェアは、最新の機能で彼らのロマンに応えます。

adidas®

速報・第8回全国高校選抜大会

横浜商工、名短大付が初優勝

（男子）

1回戦　2回戦　3回戦　準決勝

- 四日市工（三　重）
- 高　島（滋　賀）
- 明　星（東　京）
- 尾　道（広　島）
- 釧路湖陵（北北海道）
- 学法石川（福　島）
- 東　山（京　都）
- 愛　知（開催地）
- 新居浜工（愛　媛）
- 瓊　浦（長　崎）
- 小松工（石　川）
- 富　岡（群　馬）
- 竹　園（茨　城）
- 那　賀（和歌山）
- 湯　沢（秋　田）
- 八　雲（南北海道）
- 久留米工大付（福岡）
- 中　京（愛　知）
- 岩国工（山　口）
- 県岐阜商（岐　阜）
- 高松商（香　川）
- 興　南（沖　縄）
- 都島工（大　阪）
- 高岡向陵（富　山）
- 横浜商工（神奈川）

（女子）

3回戦　2回戦　1回戦

- 高松商（香　川）
- 暁　（三　重）
- 昭和学院（千　葉）
- 山陽女（広　島）
- 郡山女（福　島）
- 四天王寺（大　阪）
- 彦根商（滋　賀）
- 水海道二（茨　城）
- 有　磯（富　山）
- 熊本女商（熊　本）
- 函館女商（南北海道）
- 名短大付（愛　知）
- 市邨学園（開催地）
- 小松市女（石　川）
- 国学院栃木（栃　木）
- 夙川学院（兵　庫）
- 筑紫女（福　岡）
- 徳山商（山　口）
- 釧路湖陵（北北海道）
- 藤村女（東　京）
- 今治商（愛媛）
- 本　巣（岐阜）
- 大曲農（秋　田）
- 佐世保北（京　都）
- 東宇治（京　都）

第8回全国高校選抜大会は、3月24日から28日までの5日間、愛知県体育館で開催された。全国各ブロックの予選を勝ち抜いた男女各25校の代表校が、春の栄冠を目ざして熱戦をくり広げたが、男子は初出場の横浜商工（関東・神奈川）が、決勝で瓊浦（九州・長崎）を延長の末下して、初出場で初優勝という快挙を成し遂げた。

女子は、地元の名古屋短大付高（愛知）が強豪・小松市女（北信越・石川）を決勝で倒し、念願の初優勝を飾った。

（詳報は次号にてお届けします）

ごあいさつ



四たび会長に推選されて

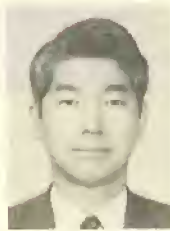
(財)日本ハンドボール協会
会長　斉藤英四郎

去る2月16日の評議員会および2月23日の理事会において、四たび会長に選任されました。

2年後には日本ハンドボール協会創立50周年目を迎えます。先人の築かれた実績を継承して6年、その間協会も財団法人化し、中学以上の学校におけるハンドボールは益々盛んとなりました。国際的にも、男子は、アジアにおける地位は何とか保持していますが、追撃急な中国、韓国と全く横一線という感じです。

アジアのチャンピオンシップを維持し、または奪回するためには、とくに小学生を含めたハンドボール人口の層の厚さとともに、一般のハンドボールファンのご支援が必要です。オリンピックに勝つこと、またテレビで放映されることが普及に及ぼす影響の大きいことは勿論ですが、それのみに頼らず、ハンドボールファンを一人でも増やす努力が必要です。

ハンドボール競技は、学童の心身の鍛練にも適しています。ハンドボールが益々盛んになるように、関係者の皆さんも、何卒誇りをもって、引き続きご尽力くださいますようお願い申し上げます。



ハンドボール界の総力をあげて

(財)日本ハンドボール協会
専務理事　大野金一

このたび専務理事に再任されました。これまでいただきましたご指導、ご支援に対し厚く御礼申し上げるとともに、引続きなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

頂点強化について

アジア大会で中国に敗れ、アジア選手権で韓国に敗れた日本男子の再起とロサンゼルス・オリンピック出場権をかけたアジア予選、ロスでのヨーロッパ勢のやはり厚かった壁への挑戦、とこの2年間はめまぐるしく、また財政的にも一番苦しいときでした。

アジア予選突破後の世間の素早い反応、これに対してオリンピックでの敗退に対する厳しい反応。やはり普及には勝たなければならないということの重みを痛感いたしました。

いち早くソウルに向けて、一から出直す気構えで、基礎体力からじっくり強化する方法をとっております。が、長期的にも、学生生徒の一般的な体力低下が大きな問題となっています。

小学生対策について

また、体力のピーク時に最大の働きができるように、小学生からの競技の普及指導が不可欠です。

昭和59年度から各ブロックで毎に小学生大会をもってもらっています（先進ブロックでは数年前から実施されている）が、各ブロックの足踏みが揃ったところで全国大会を開催すべく準備しております。公認球を定め、小学生向けのテキストブックを作製しましたので、早速各都道府県協会に小学生担当者を置いていただき、全国またはブロック毎の講習会を考えていきたいと思っております。

観客動員とテレビ放映

ハンドボールの普及には、理屈ではなく、現実に試合を観てもらうのが一番です。ハンドボールの良さは観てもらわなければわかりません。魅力ある大会を企画し、ハンドボール界をあげて観客動員をする。それによってテレビ放映のきっかけができるのです。

それと並行して、ハンドボールに理解のある企業には、呼び水的にスポンサーになっていただいて、テレビ放映の実現にご協力いただきたいと思います。大勢の人にハンドボールを知ってもらうためには、テレビで実際のゲームを見せる以外に方法はありません。

ハンドボールの課題はたくさんあります。小さな器の中で足を引っ張り合っていたらそれだけハンドボールはおくれます。ハンドボールに情熱をもっている全国の多くの人の情熱を生かせるように、私も最大の努力を尽くしたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

（財）日本ハンドボール協会
昭和60・61年度常務理事職務分掌

（※印は新任常務理事）

会長 斎藤英四郎（73才）（新日鉄会長）

副会長 荒川清美（64才）（日体大教授）

専務理事 大野金一（47才）（弁護士）

副会長 武田喜三（73才）（大同特殊鋼相談役）

常任顧問 境井秀三（国際担当）

- 総務担当常務理事　高田日呂美（東京都教育委員会）
- 企画担当常務理事　北川勇喜（日体大）
  - 企画委員会
- 広報担当常務理事　※川上整司（中大付属高）
  - 広報委員会
- 50周年記念事業担当常務理事　入江信太郎（茨城県体協）
  - 50周年記念事業委員会
  - 「日本ハンドボール史」編集委員会
- 国際担当常務理事　大野金一（兼）
- 財務担当常務理事　山田　稔（実連副会長）
- 会計担当常務理事　※清水　正（関東協会理事長）
- 競技担当常務理事　安藤純光（法政大）
  - 競技委員会
- 普及担当常務理事　伊藤和夫（愛知県協会理事長）
  - 普及委員会
- 指導者担当常務理事　大西武三（筑波大）
  - 指導者育成委員会
- 日本リーグ担当常務理事　安藤純光（兼）
  - 日本リーグ運営委員会
- 学連・クラブ・賛助会担当常務理事　中沢重夫（学連理事長）
- 高体連担当常務理事　（空席）
- 審判担当常務理事　岡前義春（都立五商高）
  - 審判委員会
- 強化担当常務理事　渡辺慶寿（自治医科大）
  - 強化委員会
  - 男子強化担当常務理事　渡辺慶寿（兼）
  - 女子強化担当常務理事※近藤金博（実連副理事長）
- スポーツ医科学担当常務理事　渡辺慶寿（兼）

［※2月23日の新理事会で以上のように職務分掌が決定しました］

世界選手権 Bグループ

東ドイツが快勝

第5回世界男子選手権Bグループは2月26日から3月3日まで、来年のAグループ（スイス）を目指す16ヵ国がノルウェーに集まり激戦をくりひろげた。

大会は予想どおり、ロサンゼルス不参加から〝B落ち〟していた東欧勢中心となり、東ドイツ－ソ連の決勝は東ドイツが快勝、両国のほかチェコ、ポーランド、ハンガリー、スペインの各国がAグループへのチケットを手にした。アジア代表クウェートは15位。

成績

▼予選リーグA組

チェコ 26－15 イタリア
スペイン 17－16 スペイン
スペイン 23－16 イタリア
チェコ 22－20 ノルウェー
チェコ 18－18 スペイン
ノルウェー 26－23 イタリア

【順位】①チェコ②スペイン③ノルウェー④イタリア

▽同B組

ソ連 30－19 フィンランド
フランス 34－16 コンゴ
ソ連 34－12 コンゴ
フィンランド 33－24 フランス
フィンランド 33－21 コンゴ
ソ連 24－18 フランス

【順位】①ソ連②フィンランド③フランス④コンゴ

▽同C組

ブルガリア 21－11 クウェート
東ドイツ 25－11 オランダ
ブルガリア 19－19 オランダ
東ドイツ 28－10 クウェート
東ドイツ 24－13 ブルガリア
オランダ 22－15 クウェート

【順位】①東ドイツ②ブルガリア③オランダ④クウェート

▽同D組

ハンガリー 19－13 アメリカ
ポーランド 30－16 イスラエル
ポーランド 25－17 アメリカ
ハンガリー 33－20 イスラエル
アメリカ 27－25 イスラエル
ポーランド 29－25 ハンガリー

【順位】①ポーランド②ハンガリー③アメリカ④イスラエル

（注）各組3位までが準決勝リーグへ進出、予選リーグの結果は持ちこみ

▼準決勝リーグ1組

チェコ 20（7 13－9 10）19 フランス
ソ連 31（16 15－10 7）17 ノルウェー
スペイン 29（16 13－10 9）19 フィンランド
チェコ 28（17 11－13 12）25 フィンランド
ソ連 28（15 13－13 8）21 スペイン
ノルウェー 20（9 11－9 11）20 フランス
ノルウェー 29（14 15－15 9）24 フィンランド
ソ連 22（14 8－12 9）21 チェコ
スペイン 30（16 14－12 10）22 フランス

【順位】①ソ連5戦全勝②チェコ4勝1敗③スペイン3勝2敗～以上Aグループ出場権獲得～④ノルウェー1勝1分3敗⑤フィンランド1勝4敗⑥フランス1分4敗

▽同2組

東ドイツ 21（9 12－9 6）15 アメリカ
ハンガリー 28（13 15－14 8）22 ブルガリア
ポーランド 29（16 13－12 11）23 オランダ
ハンガリー 25（13 12－12 12）24 東ドイツ

【得点者】（ハ）P・コバクス12、ギュルカ4、イバンクシク、マロシ各3、ホルバス、M・コバクス、ズソド各1、（東）ヴァール12、ヴィーゲルト6、ドレイエル2、ハウック、ピソール、ビンセルマン、ゼイセ各1。

ポーランド 27（17 10－9 7）16 ブルガリア
アメリカ 23（13 10－11 7）18 オランダ
ハンガリー 25（11 14－10 9）19 オランダ
東ドイツ 25（12 13－10 11）21 ポーランド
ブルガリア 18（10 8－9 7）16 アメリカ

【順位】①東ドイツ4勝1敗②ポーランド4勝1敗③ハンガリー4勝1敗＝三者間の得失点差①東ドイツ3②ポーランド0③ハンガリーマイナス3～以上Aグループ出場権獲得～④ブルガリア1勝1分3敗⑤アメリカ1勝4敗⑥オランダ1分4敗

▼13～16位決定リーグ

イタリア 21－20 コンゴ
イスラエル 棄権 クウェート
クウェート 26－21 コンゴ
イタリア 14－14 イスラエル
イスラエル 31－14 コンゴ
イタリア 23－18 クウェート

【順位】⑬イタリア⑭イスラエル⑮クウェート⑯コンゴ

▼順位決定戦

▽11・12位
フランス 29（12 11 : 3 3－15 8 : 0 2）25 オランダ

▽9・10位
フィンランド 27（14 13－13 13）26 アメリカ

▽7・8位
ノルウェー 26（14 12－5 10）15 ブルガリア

▽5・6位
ハンガリー 29（13 16－11 14）25 スペイン

▽3・4位
ポーランド 26（14 12－12 13）25 チェコ

▽決勝
東ドイツ 27（9 18－11 12）23 ソ連

得	【東ドイツ】		【ソ連】	得
0	シュミット	GK	シュコフ	0
0	ホフマン	GK	スチペンコ	0
6	ハウック	FP	ガギン	8
3	ピソール	FP	デミドフ	2
9	ヴァール	FP	バシリエフ	7
2	ビンセルマン	FP	シェフゾフ	1
4	ヴィーゲルト	FP	クシュニリュク	1
3	ドレイエル	FP	カルシャケビッチ	1
0	シュネル	FP	キジャエフ	0
0	ローテ	FP	スコル	0
0	ラングホフ	FP	リマノフ	3
0	ナゴラ	FP	バルザス	0
27	(2)	PT	(7)	23

○…Aグループ行きの6枚のチケットは予想どおりの顔ぶれがつかんだ。

思惑がはずれたのは地元ノルウェーとフランスあたりか。いずれも、東欧勢の参加がなければAグループを狙えたハズ。とんだところで、「ロス・ボイコット」の余波をかぶった。

内容的には、ボイコット組の激突で盛り上がった。

決勝、ポーランド、ハンガリー、東ドイツのかみ合いは特に目立つ展開で、各国の実力を改めて認識させた、といえる。

下位ではアメリカの成長が注目され、初めて開かれた三大陸からの道を飾ってくれた。

クウェートがイスラエル戦を〝拒否〟したのは尾を引きそう。アジア球界にも、なんらかの影響を及ぼすのではあるまいか。（S）

第16回全日本実業団男子トーナメント大会

本田技研爽風会が初の栄冠に!!

第16回全日本実業団男子トーナメント大会は、2月9日から11日までの3日間、京都府立体育館、京都府立伏見公園総合体育館の2会場を使って開催された。大会は、1回戦で優勝候補とみられた三景が日本電装の健闘の前に敗れ去るという波乱の幕明けであったが、本田技研爽風会が、日鉄建材、中村荷役といった日本リーグ勢を下して、見事初の栄冠に輝いた。

▼1回戦

日鉄建材（大阪）33（17―7, 16―4）11 自衛隊勝田（茨城）

○…前半、日鉄建材が山口、上山を中心としてロングシュートで着々と得点。勝田も額賀のカットインなどで追いすがるも、後半に入って日鉄の一方的な試合となった。

丸善石油千葉（千葉）25（10―8, 15―9）17 日本鋼管福山（広島）

○…立ち上がりノーマークシュートを着実に加点し、遅攻では山本を中心に得点した丸善に対してシュートミスの目立つ鋼管との差は広がったが、それでも鋼管の速攻が決まり始め2点差で前半を終了。後半も一進一退を続けるが、足の動いた丸善が要所要所で加点し、GKの活躍もあり、追いすがる鋼管を突き放した。

徳山曹達（山口）23（9―8, 14―13）21 新日鉄名古屋（愛知）

○…前半両チーム共遅攻でペースもスロー。ポスト割り込みなどで盛んにチャンスをうかがうが決め手に欠けていた。前半は徳山曹達が1点をリード。後半に入って両チーム動きが激しくなり、速攻、ロングも決まり出し、白熱したゲーム展開になった。中でもGKが互いに好守を見せたのが目立った。試合は結局23―21で徳山曹達が勝った。

セントラル自動車（神奈川）26（13―8, 13―9）17 丸善松山石油（愛媛）

○…立ち上がり、セントラルは速いパス回しからのサイド攻撃で着実に得点を重ね優位にゲームを進めた。丸善松山も速攻で粘り強く追撃したが、セットではセントラルの堅い守りを崩し切れなかった。セントラルの選手のサイドシュートの巧さが印象に残った。

本田技研爽風会（三重）26（16―4, 10―8）12 興亜石油（山口）

○…試合開始早々に興亜が先取したもののその後15分間ノーゴール。その間に爽風会は速攻、ロングで着々と加点し、前半を16―4の大差で終了。後半に入り興亜も藤田を中心によく健闘したが、爽風会の高さ、スピード、パワーに追いつけず26―12で終了。

三井石化千葉（千葉）27（11―12, 10―9, 2―2, 4―3）26 住友金属和歌山（和歌山）

○…立ち上がりディフェンスの良い住友が速攻で得点しやや優勢に試合を進めたが、中盤から攻撃が単調になり、ミスが重なり、三井石化の反撃を許し1点差まで追い上げられた。後半、調子の出た三井が5連続得点し逆転する。その後テンポの速い攻防が続き場内が盛り上がった。住友が残り20秒で同点にし延長に入る。スタミナに勝る三井が走り勝った。

豊田自動織機（愛知）26（10―5, 16―7）12 三和銀行（大阪）

○…前半、立ち上がり互角の滑り出しに見えたが、6分、豊田・蟹江がペナルティースローを決めてから4連続得点、5―1と主導権を握った。後半に入っても蟹江、大城の速攻およびカットインで着々加点し、大量リードを保って三和銀行を下した。

日本電装（愛知）16（8―8, 8―7）15 三景（東京）

○…前半、両チームとも堅さからかミスが目立ち、なかなかリズムに乗れない。しかし、中盤よりそれぞれの持ち味を出し、好ゲームを展開、8―8で前半終了。後半に入っても両チームとも良く動き一進一退を展開、残り4分を切って15―15の同点、目を離せない試合となる。残り3分、日本電装山田のロングが決まり、三景もその後チャンスがあったが、オーバーステップ、ノーマークシュート、ペナルティーをたて続けにミス、最後の最後で自滅した。

それにしても日本電装の大健闘が光った。

中村荷役（東京）28（15―7, 13―6）13 豊田工機（愛知）

○…中村荷役は開始20秒で早い展開により得点し、その後ロング、ポストシュートと面白いように加点する。一方、豊田工機もサイドシュートを主体に組立て反撃するが、GKの好守に阻まれ得点することができず前半を終る。後半に入っても中村荷役が早い動きとリズムで着々得点を加え、楽勝。

自衛隊久里浜（神奈川）21（7―11, 14―9）20 サンケミカル（岐阜）

○…開始15秒、サンケミカルがラッキーなシュートを決めて先制。しかし、互いにシュートミス、パスミスが多くシーソーゲームとなったが、中盤サンケミカルのポストプレー、堀のロングが確実に決まり出し、前半11―7とリード。後半、ディフェンスの足の止まったサンケミカルに対して自衛隊久里浜は黒木のステップシュート、センターからクロスしての畑中のシュート、パスカットから速攻とラスト7分で同点とし、友利のサイドシュートで逆転、最後まで守り切った。

東京重機（東京）26（13―8, 13―5）13 美津濃（大阪）

○…東京重機がサイド、ロング、カットインで先行し主導権を握る。その後は相手ミスに乗じて速攻などにより加点する。これに対して美津濃は攻撃が中央にかたまり、単調になり、不十分な体勢でのシュートが目立った。

新日鉄大分（大分）21（13—8、8—12）20 神戸製鋼（兵庫）

○前半立ち上がりから新日鉄大分が攻守ともキレが良く、着実に得点を重ねる。一方、神戸製鋼はディフェンス面で荒さが目立ち10分過ぎまでチグハグな攻撃をくり返す。後半に入ると神戸製鋼が目ざめたのか固い守りからの速攻で得点を重ね、10分過ぎには16—16の同点に追いつく。1点を争う攻防が続いたが、最後神戸製鋼が力尽きた。

大阪ガス（大阪）30（18—10、12—9）19 出光千葉（千葉）

○…開始早々大阪ガスは速攻で2点先取するが、出光千葉もロング、速攻と追い上げる。10分過ぎから大阪ガスは再び速攻、ロングで引き離し15分には9—3。出光千葉もロングで懸命に追い上げ、前半12—9と大阪ガスのリードで終わる。後半に入っても両チームとも速攻、ロングとキビキビとした動きで一進一退の展開から残り10分を切って動きに精彩を欠いた出光千葉を大阪ガスがじわじわと引き離して終了。

金沢市役所（石川）34（14—10、20—2）12 日進商会（神奈川）

○…技術、体力ともに勝る金沢市役所が、立ち上がりからリズムに乗った攻めで得点を重ねる。日進商会も反撃を試みるが、単調な攻めでミスも多く得点に結びつかない。ディフェンスも足が動かず前半にして勝負あった。

武田薬品光（山口）25（9—8、9—10、3—1、4—3）24 豊田合成（愛知）

○…武田・西野のロングシュート、GKの好守でリードを広げるように見えたが、中盤より武田のシュートが豊田ディフェンスの手に当たり出し、シュートカット、速攻で得点、前半9—8と武田の1点リードで終わる。後半に入りお互いに動きが少なく雑なプレーが続き一進一退のゲームになり、結局武田が1点リードを守り逃げ切るかに見えたが、豊田が残り5秒、ペナルティーを決め延長戦に入る。延長に入ってもお互いにミスが多く一つ内容の乏しいゲームであったが、武田のGKの好守が目立ち、末長のカットインからの得点で勝利を握った。

本田技研熊本（熊本）24（14—6、10—9）15 日本発条（神奈川）

○…前半、互いに前に詰めるディフェンスが悪くロングシュートの打ち合いになったが、本田技研熊本のディフェンスが次第に足を使い始め、速攻、ロングシュートも決まり出して14—6で前半を終了。

後半、本田のディフェンスが甘くなったところを日本発条も速攻、ロングで対抗したが、前半の点差が大きく及ばなかった。

▼2回戦

日鉄建材 34（20—11、14—6）17 丸善石油千葉

○…日鉄建材が上山のロングで先行し、相手のミスに乗じての速攻や上山のロングで得点。これに対して丸善石油は動きが単調で自らリズムを崩した感が強い。

セントラル自動車 29（16—8、13—6）14 徳山曹達

○…両チームとも前半10分過ぎまでGKの好守により得点成らず、徳山・中村の退場のスキにセントラルが速攻で加点、その後もポストプレーで徐々に差を開いて前半終了。後半に入り、セントラルはポストなどで着々と加点、一方徳山はときおり、打つシュートは単発で攻撃自体も単調過ぎた。

本田技研爽風会 42（18—12、24—7）19 三井石化千葉

○…走、攻、守すべてに上回る本田が着実に得点を重ね順当に勝利を収めた。大差にもかかわらずしまった試合であった。

豊田自動織機 28（14—10、14—16）26 日本電装

○…立ち上がり日本電装が先手をとり、1点差のゲームとなったが、13分過ぎから日電の小さなミスから豊田が3点連取してリードした。この後、日電も粘って逆転、前半2点のリードで後半に戦いを進めたが、シュートミス、パスミスが目立ち、豊田の再逆転を許した。

中村荷役 33（17—7、16—6）13 自衛隊久里浜

○…立ち上がり両チームともに堅さが見られミスが多かったが、中盤から地力に勝る中村荷役が点差を広げていった。後半、自衛隊も黒木を中心によく健闘したが及ばなかった。

新日鉄大分 33（21—13、12—13）26 東京重機

○…前半は互角の展開、新日鉄は南の個人技に頼るところが大きく、重機はGK吉田の好守が光る。後半も8分過ぎまでシーソーゲームで進むが、重機・佐藤の退場中に着実に3点を連取した新日鉄大分が主導権を握り、勝利に結びつけた。

大阪ガス 27（14—8、13—10）18 金沢市役所

○…立ち上がりラフプレーが続き、PTで互いに得点を重ねた。その後互いに一進一退を続け、前半大阪ガスが3点をリードして終了。後半、大阪ガスは単発シュートからの速攻が決まり、徐々に点差を開く。金沢もサイド、ロングで応戦するが、大阪ガスは10分過ぎGKからの直接シュートが決まり、ムードが盛り上がり、結局9点差で終了。

本田技研熊本 38（23—7、15—8）15 武田薬品光

○…開始早々より地力に勝る本田が攻守に武田を圧倒、15分で8—2とリード。しかし、その後本

田が雑になったところを武田が反撃し前半を15―8で終了。後半に入っても武田は随所に好プレーを見せ、反撃するが、本田のスピードについていけず、結局終ってみれば38―17の大差がついてしまった。

▼3回戦

日鉄建材 24 〔11―9、13―9〕 18 セントラル自動車

○…両チームともにスピーディな攻撃とキーパーが好守を見せ、締った内容の好ゲームとなった。後半、日鉄建材はキーパーが再三の好守を見せ、これをきっかけにペースをつかみ粘るセントラルを突き放し、24―18で逃げ切った。

本田技研爽風会 27 〔17―6、10―13〕 19 豊田自動織機

○…前半、本田爽風会は速攻が良く決まり、山下、船谷などがサイドシュート、山野がロングシュートを良く決め、17対6と一方的にリードした。後半、豊田も蟹江、諫山らが必死に反撃するが、前半の失点が大きく、結局27―19で爽風会が勝った。

中村荷役 42 〔19―8、23―12〕 20 新日鉄大分

○…開始早々より地力に勝る中村が10分過ぎには8―0とリード、GKの好守もあって新日鉄に得点を許さない。しかし、10分過ぎから中村の攻撃が少し雑になり、シュートミスも目立ち始めたが、新日鉄も決め手に欠け、19―8で前半を終了。後半に入っても中村に雑なプレーが目立ったが、大差がついたまま終了。

本田技研熊本 29 〔18―11、11―14〕 25 大阪ガス

○…素晴らしい立ち上がりを見せた本田が10分には8―3とリード。その後、大阪ガスも必死に反撃するが、立ち上がりの失点が響きどうしても点差が縮められない。後半に入りお互いの持ち味を出し点の取り合いとなる。終了間際、大阪ガスが猛反撃するも一歩及ばなかった。

▼準決勝

本田技研爽風会 24 〔17―8、7―11〕 19 日鉄建材

○…前半開始より爽風会は山下を中心にハツラツとしたプレーを展開、カットイン、サイド攻撃で得点を加える。一方、山口を中心に攻撃しかける日鉄は全員の動きが小さく、今一つリズムに乗れず、前半17―8の得点で終わる。後半10分過ぎから日鉄は激しく追い上げるが、前半の得点差が大きく爽風会が24―19で逃げ切る。

〔日鉄〕		得
GK	蓑輪	0
GK	川上	0
FP	若本	3
FP	清原	1
FP	池辺	0
FP	古川	0
FP	外山	3
FP	山口	9
FP	杉本	3
FP	霜村	0
FP	中山	0
FP	上山	0
PT		(1)
		19

〔爽風会〕		得
GK	三宅	0
GK	橋本	0
FP	香西	2
FP	小川	0
FP	山野	2
FP	真砂	7
FP	東	1
FP	船谷	8
FP	山下	4
FP	松下	0
PT		(4)
		24

（審・吉田 秋永）

中村荷役 20 〔11―9、9―10〕 19 本田技研熊本

○…激しい闘志をむき出す両チーム、中村荷役・西窪、坂口、下戸成らが速攻でのシュート、サイドシュートが良く決まる。一方、本田はロングシュート、カットインシュートが要所に決まる。絶えず一歩リードを取る中村荷役が11―9の2点差で終了した。後半の中盤以降、同点、あるいは1点リードと一進一退の展開が続いて、残り1分でのペナルティーシュートを中村の下戸成が決め、20―19で中村が勝った。

〔熊本〕		得
GK	岩本	0
GK	森	0
FP	田上	2
FP	斉所	4
FP	松永	1
FP	岡崎	0
FP	佐伯	4
FP	中村	1
FP	鯖江	0
FP	長野	7
FP	片山	0
FP	荒田	0
PT		(6)
		19

〔中村〕		得
GK	飯塚	0
GK	末次	0
FP	飯田	2
FP	松本	0
FP	坂口	5
FP	西窪	3
FP	下戸成	7
FP	三尾	0
FP	塚田	1
FP	窪田	0
FP	吉田	2
FP	小野	0
PT		(5)
		20

（審・飼沼 倉見）

▼3位決定戦

本田技研熊本 23 〔7―14、16―4〕 20 日鉄建材

○…前半開始早々より日鉄はロング、速攻、ポストと多彩な攻撃を見せ着実に加点する。一方、本田はフローターがロングで攻撃するだけという単調な攻撃。結局全員が良く動いた日鉄が14―7と前半をリード。しかし、後半に入るや前半と全く反対のパターンとなり本田が猛追、19分に遂に同点に追いつく。しかし、25分までは日鉄も必死で逃げたが、勢いに乗る本田がラスト5分で4点を加え振り切った。

〔日鉄〕		得
GK	蓑輪	0
GK	川上	0
FP	若本	0
FP	清原	2
FP	池辺	2
FP	古川	0
FP	外山	2
FP	山口	4
FP	杉本	3
FP	中山	7
FP	上山	0
PT		(0)
		20

〔熊本〕		得
GK	岩本	0
GK	森	0
FP	田上	2
FP	斉所	2
FP	松永	5
FP	岡崎	3
FP	佐伯	4
FP	中村	2
FP	鯖江	0
FP	長野	5
FP	片山	0
PT		(0)
		23

（審・国府 辻吉）

▼決勝

本田技研爽風会 20 〔10―10、10―9〕 19 中村荷役

○…前半20分過ぎまで爽風会は途切れなく得点を重ねるが、中村のGKが高橋に替ってから10分間ピタリと止まってしまう。その間に中村のプレーヤーが刺激されたのか動きが良くなり、4点連取し10―10の同点で折り返す。後半は中村のディフェンスが荒くなり、爽風会の真砂のサイド攻撃連続3本で勝利をつかんだ。

〔中村〕		得
GK	高橋	0
GK	末次	0
FP	飯田	3
FP	松本	0
FP	坂口	2
FP	西窪	4
FP	下戸成	4
FP	三尾	0
FP	塚田	1
FP	窪田	0
FP	吉田	5
FP	小野	0
PT		(0)
		19

〔爽風会〕		得
GK	三宅	0
GK	橋本	0
FP	香西	1
FP	小川	0
FP	山野	3
FP	真砂	9
FP	東	0
FP	船谷	3
FP	山下	4
FP	松下	0
PT		(2)
		20

（審・福井 小西）

特別寄稿



〈左〉フェルプス氏と筆者

アメリカで学んだこと　これからの体力トレーニングを考える　連載1

渡辺慶寿

挑戦こそ美であり富である！

ロサンゼルス・オリンピックが終わり、日本のスポーツの強化について、いろいろと論ぜられている。広く日本のスポーツ界をみると、少なくともオリンピックで勝つための材料はかなり緊迫したものがある。

水泳選手の不祥事は、関係者に大きな衝撃を与えた。オリンピックの緊張感が何かにたよって受動的な感情が原因したのか、あるいは、安易に受け入れられてしまったかは別として、オリンピックという大事業の場の主役を演ずる選手たちの現代気質の一端を垣間見る思いである。

「互いに信頼関係があったにもかかわらず」とか、「あの選手に限って」とか、いろいろと意外性を語ることはできよう。しかし信頼とは、一般に人間性の良き発展と結ばれるべきものである。スポーツ選手として、自己練磨が基本となり、創造性を欠くことなく鍛練することは、必要最小限の条件となる。

スポーツが美化され、スポーツが人間形成に必要不可決であるとの発言は、選手が育っていく段階の手段にすぎない。霜山徳爾は、「スポーツというもののプロ化して、もはやプレイという言葉をつかえない、いわば芸当のようなものである。かってヨーロッパで有名な体操の選手団の通訳をたのまれて案内した時、彼らのなんと感情の肌目の荒い粗雑な人柄には、きもをつぶした。名高いゴシックのドームにも、きらめく華やかなステンドグラスの光にも、巨匠のひくバッハのオルガン曲にも徹底的に文字通り一片の興味も示さないのには驚かされた。スポーツマンとは真のホモ・ルーデンスであると考えていたのは大変な誤解で、一種の猿にすぎないことに気づいたものだった。今日、ゴルファーなどを見るにつけても、いまだにこの意見を変更する必要を感じない。」と厳しいスポーツマンの批判をしている。

詩人宮本正清は、「一日の生活（いのち）をまことに生くる者の上に光あれ」と詩っている。日々感動があってこそ、成長することを意味するものであろうが、真に難しい生活の内容である。スポーツで勝負を賭けることは、まさに一日の生活をまことに生くる者こそ満足があり、競技に勝ることなのだろう。

現代の頂点スポーツは、プレーではなく自己の限界の挑戦である。自己の挑戦を奏でるものは、生活の富あるいは、名声であっても決して誤ってはいけない。この世に生をなし、短いスポーツ選手生活の中で、限りなき肉体の機能の鍛練は、価値があっても不思議ではなく、挑戦こそ美であり、富であり、満足がある。そこに将来の道があると考えるべきであろう。

あの大舞台での肉体と精神を糧として、技術を表現し、勝負を決するのは、全て選手たちである。この基本的考えを時に忘れることがある。選手たちの環境づくりこそ指導者の役割である。指導者とは、チームをみる監督、コーチはもとより、チームを運営していく側をいう。

最近、日本体育協会が長期強化総合プランとして提言〝スポーツ21への飛躍(案)〟を出した。これをみると、広く強化の環境づくりとして、きめ細にレポートしている。一朝一夕に全てのことが解決

するとは、思わないが、心底に、基本的プランがあれば、かなり日本のスポーツの将来に希望がもてるものである。多くの人たちにより着実に環境がととのえられれば、スポーツをするもの、あるいは、指導に携るものの質的向上が期待されるものである。

アメリカの大学のスポーツ施設は、まことに羨ましいかぎりである。筋力トレーニング施設やスポーツ医学関係の施設がととのていることや各関連分野が、それぞれの役割を責任をもって果たして選手を育てている。選手の強化に役立つと思われる方法を積極的に取り入れていることである。前述した環境づくりが、日本と比較して数段も秀れているといえよう。経済的大国である日本が、スポーツ関連では、全くの無理解と無知な状態であることは、まことに残念なことである。スポーツのトレーニングの考え方が米国に較べ10年は遅れているという人もいる。スポーツ医学については、それ以上であるともいう。

事実ロサンゼルス・オリンピックが終り、昨年の11月に渡米をする機会を得、2つの大学の施設およびトレーニング指導を受けることができた。アメリカのスポーツ指導者（コーチ、トレーナー等）のスポーツトレーニング方法の合理性と信頼性は、かなり高いものである。

総合的な体力アップを目標に

ハンドボールが、戦後オリンピックに正式にとり入れられたのが一九七五年のミュンヘン大会であり、その後一九七八年のモントリオール、一九八一年のモスクワ、そして、今回のロサンゼルス大会である。幸いなことに、日本の男子チームは、過去4回のオリンピックに出場、あるいは、出場権を得ることができた。しかし、最近のアジア諸国は、かなり力をつけてきており、日本が今後有意に戦える補償は予断を許さない。一九八二年のアジア大会で中国に敗れ、一九八三年第3回アジア選手権大会では、若い韓国に大敗したことは、記憶に新しい。

女子は、モントリオール大会で5位を確保したものの、一九七九年世界大会予選で韓国に敗れた後、アジアの女王の座を中国、韓国にゆずって、久しい。技術、体力はもとより、戦術を総合的に培われた要素が一層強力に打ち出されない限り、アジアの主座を守ることは、かなり厳しいといえよう。

オリンピック終了後、強化の重点目標として体力の総合的アップを打ち出した。トレーニングドクター群を中心に、男女に適したトレーニング処方を考えてもらい、実行に移している。実際の効果は、長い目でみなければならないが、ハンドボール強化の体制としては、組織化されたものである。両チームの指導者が、必要性を感じ、選手たちが確実に実践することによって効果をあげることができよう。しかし、並の努力ではレベルの向上は期待はできない。「いくらパワーアップを試みても結局は外国の選手には、かなわない」主義は、このレベルで結論がでてしまっていることを忘れてはならない。ある程度の体力アップをすることによって、技術向上の成果があることをややもすると指導者も選手も忘れてしまっているのではないか。前記発言が技術優先主義の原因となる。

今回の渡米の目的は、スポーツ王国の一つであるアメリカのスポーツのトレーニングの方法を調べることであった。特に体力ト



加州大ドミニゲンスヒルトレーナー・フエルプス氏の肩の調節

レーニングはいかにして実践されているのかはロサンゼルス・オリンピックを通じて、最大の関心であった。オリンピックを終え、ますます脳裡にこびりつき、渡米の計画をたてた。

幸いなことに、大野専務理事の賛同を得て、ギャラクシースポーツ社、大友英紀氏らを通じ具体化することができた。

両氏はロサンゼルス国際マラソン組織委員会のメンバーであり、国際スポーツ大会の企画運営に数多く担当している。

現地では、ロサンゼルス・オリンピックでボランティアとして、日本選手団の通訳として活躍されたMrs. Ruth Yamamoto のお骨折りでカリフォルニア州立大学ドミングスヒルズの Mr. Dennis w Pheles と接触していただき、のちにふれるトレーニング方法の伝授をお願いすることができた。一方 USLA は Dr Watanabe の紹介で Mr. Elvin "Ducky" Drake の指導を受けた。

全日程（11月17日～11月24日）を無事終えたことは、Mrs. Ruth Yomamoto のお陰である。オリンピックで日本チームと接触をした時精神面で好感をもち、日本が国際的に飛躍してくれるならばという願望からである。夫君は渡米者の中で、事業を成功させた一人で、現在事業拡大の準備をしており、夢は限りない。

フェルプス氏のトレーニング法

また、この機会に多くのオリンピック関係者と逢うことができた。アメリカハンドボールの育ての親の一人であり、オリンピック組織委員会ハンドボール担当マネージャーを勤めた Mr. Mihal Caranaugh 夫妻、州立フォラム大学の教授 Mr. Leon Gilberto 氏は、独語の通訳としてオリンピックに参加。日本の通訳を担当してくれた Mr. Jin yu。全て想い出の再現であった。

カリフォルニア州立大学ドミングスヒルズの体力トレーニングを担当しているのは、トレーナーである Mr. Dennis W Phelps である。ドミングスヒルズ校の野球、バスケットボール、陸上、ソフトボールなどの選手のからだの管理を全て行なっている。氏は当然のことながら臨床的知識を充分にもち合わせており、個人的には、クリニックをも経営している。多くの患者の信望も厚い。氏のエピソードの一つとして、夫妻で旅行のため1週間の休暇をとったが、旅行先が気に入ったとして、3カ月間滞在したという。からだも大きくまさにからだに似合った行動であったと大笑いをした。しかし一面では、ドミングスヒルズ校は、黒人の学生が多く、スポーツ選手の割合も黒人が多い。彼らは平均して貧しい生活を送っているため、精神的にも心を割って接触をしてくれない。これに対処するためには、指導者が心を先に割る必要がある。

氏はこのことに目をつけ積極的に行動をとったとのこと。私が指導を受けにいった時には、氏の部屋には黒人の選手がほとんどであり、氏の指示に従っていた。氏の考えた体力トレーニングの方法は、トータルなもので、新聞にも紹介され多くの人たちが知るところである。氏のテストを以下に示すと

1 全身耐久性テスト
12分間走、Max Vo_2

2 皮下脂肪厚
上腕三等筋部、三角筋下部、側腹部、大腿四等筋部

3 筋力測定
Cybex machine を使用して、膝関節、肩関節

4 血液検査
栄養の状態（鉄分）、麻薬の有無、白血球、赤血球、ビタミン

トレーニング処方として、


バスケット選手はエアロビクスダンスでトレーニングする

1　エアロビクスダンス

エアロビクスダンスはご在知のように、音楽のリズムに合わせて行なう運動である。特に、心肺機能の向上を目的としているが、からだの柔軟性をもともなうもので、各関節の可動域を広くするためにも効果がある。リズムに乗って行なう運動であるため動きの柔軟性にもつながる。従って、柔軟なプレーにも役立つといえよう。その他調整力、敏捷性の力をつけるためにも役立つ。このダンスを各競技の動きの特性にアレンジをして、シーズンオフには、30分間連続して行なわせ、シーズン中でも20分間行なっている。

2　リラクゼーション

従来、心とからだは相反するものとする傾向が強かったが、最近の研究から両者は一対の存在として考えるべきである潮流が強くなってきた。リラックスの技術を学ぶことによって、自身がもつ強固な枠すなわち自分自身の技量の先入観を打ち破ることができ可能性を引き伸ばすことができるのである。ご存知のように私たちの大脳は、左右の半球に分かれている。左半球は、物事を考えたり思ったりする分析思考力に関係している。逆に右側は、直観力、創造力に関係していて、全身のリラックスを学ぶことによって五体がもっている潜在的能力を引き出すことを目的としている。最近のソ連の研究では、心身を統一させてスポーツに専念すれば40％以上の成績向上につながるという。エアロビクスダンスの厳しいトレーニングのあと、テープから流れる助言をもとに床に寝て心身の緊張をほぐしていた。

1. upright row
2. direct row
3. pull down
4. leg press
5. bench press
6. sit ups
7. reverse situps
8. hip abdection
9. leg extension machine
10. rowing machine
11. leg curling machine
12. pullover machine
13. double chest machine
14. double shoulder machine
15. amnibicep machine
16. omnitricep machine

3　ランニング

ランニングトレーニングは、トラックの直線コースを全力疾走各曲線400ｍ×8回行なっており、部分を歩く方法である。

4　ウエイトトレーニング

ウエイトトレーニングは、一連のトレーニングの中でも主流をなしており、からだの各部分の筋力の増強を目的とした処方である。各部の方法は、時間によって管理されている。すなわち、初期の頃は、1種目30回×30秒の休息をして徹底して正確に方法を教え込み、慣れるにしたがい15秒間の運動施行と30秒休息に変化させている。トレーニング種目は〈上表〉のものである。

5　スイミング

水泳の目的は、各トレーニング、特に筋力トレーニングの筋肉緊張をほぐすことを主としているが、心肺機能の向上にもこの方法は一役かっている。筋肉緊張の弛緩は、トレーニングによって、培われた筋力をより効果的に発揮することに役立つ。たとえば、上腕二等筋に負荷をかけた場合、上腕二等筋の緊張には役立つが、弛緩状態にはあまり効果を示さない。すなわち、緊張の連続ということになる。したがって、強化された筋肉を柔らかくすることによって実際のプレーにより効果を発揮させようとする。また、ここ水泳の処方は潜水をとり入れ、心肺機能の強化にも着眼している。

1プールの側面を利用して、バタ足（伏臥）50回→100回、バタ足（仰臥）50回→100回足を水面から出さないようにして、大きく速くビートする。

2クロール
25ｍ4往復、3往復終了後に15秒間の休息

3背泳ぎ
25ｍ4往復、3往復終了後に15秒間の休息

4潜水泳
25ｍ4往復、3往復終了後に15秒間の休息、潜水法はバタ足で続けられるところまで潜り、浮くと同時にクロールで進む。

5プールの側面を利用して
バタ足（伏臥）50回→100回、バタ足（仰臥）50回→100回、脚の力を抜いてゆっくり大きく行なう。

これらの一連のトレーニングをオフシーズンには週4回、シーズン中には週2回行なっている。まさに体力の強化であると思う。私も、Mr Phelps の指導によって実践してみたが最後までは続けられなかった。

昭和60年度日本ハンドボール協会

審判部合同委員会会議録

日時　昭和60年1月14～15日

場所　熱海市「新熱海ホテル」

出席者　〈審査委員〉入江、藤田、佐野、岡本、〈ブロック委員〉新橋、由利、加藤、斉藤、吉田、狩野、真木、東、日野、〈連盟部長〉金原、藤田信、近藤、柳井、〈審判部長〉岡前、〈ルール研究委員〉大塚、後藤、島田、清水、原、浜田〈ＩＨＦ伝達員〉光島

◎活動報告

1審判部事業報告（岡前）

。59年度事業報告書

。国際審判員研修会（3月25～26日／名古屋）

。ＪＨＡレフェリーコース（前期3月27～28日、後期8月21～23日）合格者　Ｂ級6名、Ｃ級8名、Ｄ級4名。

。中央研修会（3月30日・都立新宿高校）

。ＡＢ級審判員テスト（東地区6月30日、中地区6月2～3日・京都、西地区5月12～13・長崎）52名中33名合格。

。レフェリー、トレーナー研修会（8月9日境港市、10月14日生駒市）

。国際審判員研修会（12月18～19日）

。ＩＨＦレフェリークリニック（4月12～18日・中国北京市）合格者、川島、井上、森、中本。

。レフェリー海外研修（7月28～8月12日・ロス五輪、島田、後藤）

2審査委員会報告（入江審査委員長）

。Ａ級申請24名中22名、Ｂ級70名中58名書類審査合格。講習会を受けていない者、印鑑ないものなど書類上不備なものが目立つ。

。Ａ級審判員の格差が目立つ。地方で技術向上を目ざしてほしい。

。Ａ級申請の際、全国大会経験を必要としていたが、60年度より場合によってはブロック大会を10回以上吹けば、全国大会と同じに扱う。ホイッスルの技術向上のためブロックの審判長はよく指導してほしい。

。昭和60年度「審判員の課題」

(1)身体接触は厳しく判定する

(2)センターレフェリーとゴールレフェリーの任務を再確認すると共にオフィシャルとの連係を密にする。

(3)審判員は常に体調を整えておかなければならない。

3ブロック、連盟報告

岡前審判部長より活動報告を記録として残すために、所定の用紙に記入してもらう。

日野（九州）より、各都道府県で主催し、日本協会から審判部長などを呼ぶ講習会は、ブロックの部長にも連絡してほしい。了承。

4審判海外研修報告（島田、後藤）機関誌236号掲載済み。

◎議事

1　1985年版競技規則改正（大塚ルール研究委員）

原案提示――了承される。

。規則書の小型化（Ｂ6判）

。条文は条文でまとめ、注、申し合せ事項は競技規則の解説として後頁にまとめた。

。競技規則の改正、変更点

・ゴールライン→エンドラインに。ゴールラインというのは、ゴールポストの間の3ｍのラインである。〈1：1〉

・競技時間、ジュニア女子（高校女子）20分→25分に〈2：1〉

・指名退場、追加プレイヤーが不当に競技場に入ったときなど…：〈4：6〉

・ユニフォームについて。地色と背番号、フィールドプレイヤー、ゴールキーパーの区別のつきにくいもの。

・ストーリング→パッシブプレイ（消極的なプレイ）

・罰則の段階的な適用。

・レフェリーのジェスチャー

⑥チャージング

⑱コートへの立ち入り

⑲ゴールキーパー交替

。競技の運営

・競技場は40×20ｍ、体育館の照明は800ルックス以上、天井の高さは床上7ｍ以上など。

・ユニフォームの色が混同しやすい場合、組合せ番号の小さいチームが濃色のユニフォームを着用する。

・ペナルティースローコンテストの際、使用するゴールはレフェリーが決定する。

・リーグ戦の順位決定

Ａポイント数の多いチームが上位となる。Ｂ同点が2またはそれ以上の場合は、獲得可能のポイント数の25％に達しないチームを除き ⓐ得失点差、ⓑ得点数、ⓒチーム間の対戦結果。

2全日本大会審判割当

ブロックで決定する際は、順番ではなく全国大会を実際に吹ける人を割当てほしい。

3昭和60年度事業、予算、岡前審判長より原案が示され、決定される。5月のＩＨＦ審判講習会には、光島、大塚両氏を派遣。

4レフェリートレーナー研修会

。第1回　高校総体（8月3日／小松市）担当、佐野、岡本両審査委員

。第2回　国体（10月22日／境港市）担当、岡本、狩野両審査委員

5審判中央研修会

3月30日、東京で開催。参加者、日本協会審判部各委員、各都道府県審判長、日本リーグ監督、各都道府県協会競技担当者など。

6ＪＨＡレフェリーコース

前期3月27～29日、後期8月20～22日

7ＡＢ級公認審判員テスト

Ａ級（6月15、16・駒沢）

Ｂ級（東地区・7月上旬・千葉、中地区・5月下旬・京都、西地区・5月上旬・岡山）

8役員改正

審査委員　片瀬氏辞意→了承。狩野氏選出。次期審判部長を育てる意味から副審判部長制度をとりたい→了承。

9その他

。レフェリーの管理指導

国際ゲームは審査員、日本リーグは各ブロック審判長がこれに当る。

・公認審判員手続きの確認。

・審判着の販売について。

各地の記録から・・・

愛知県高校新人大会

【東三河支部予選】（9月16、23日／国府高）

〈男子〉

▼1回戦
蒲郡東 16－12 豊丘
豊川工 26－14 豊橋東
桜丘 14－11 蒲郡
時習館 24－8 豊橋南
豊橋工 23－13 新城東
豊橋商 27－5 新城

▼2回戦
国府 22－13 蒲郡東
豊川工 28－12 桜丘
豊橋工 16－9 時習館
豊橋西 20－15 豊橋商

▼準決勝
国府 22－12 豊川工
豊橋工 20－11 豊橋西

▼決勝
国府 23－19 豊橋工

※国府、豊橋は県大会へ。

〈女子〉

▼1回戦
豊丘 10－5 宝陵
豊橋西 20－11 蒲郡東
蒲郡 14－7 新城東
国府 13－8 時習館

▼2回戦
豊丘 25－5 新城
豊橋西 16－6 豊橋南
蒲郡 11－9 豊橋商
国府 14－8 豊橋東

▼準決勝
豊橋西 18－12 豊丘
国府 13－4 蒲郡

▼決勝
豊橋西 23－15 国府

※豊橋西、国府は県大会へ。

【西三河支部予選】（11月3、4、11日／西尾高）

〈男子〉

▼1回戦
知立 17－11 豊田工
安城南 15－13 刈谷
岡崎北 22－9 碧南
岡崎東 20－9 一色
西尾東 13－12 愛教大附
安城東 12－11 刈谷北
幸田 16－10 高浜
安城 18－17 衣台

▼2回戦
岡崎 21－9 知立
豊田南 30－9 安城南
岡崎北 21－6 西尾
岡崎東 12－7 岡崎工
刈谷 21－6 西尾東
安城東 23－6 三河
三好 13－9 幸田
岡崎城西 37－4 安城

▼3回戦
豊田南 18－16 岡崎
岡崎北 12－9 岡崎東
刈谷 18－6 安城東
岡崎城西 27－6 三好

▼準決勝
岡崎北 14－12 豊田南
岡崎城西 20－7 刈谷

▼3位決定戦
刈谷 17－14 豊田南

▼決勝
岡崎城西 23－16 岡崎北

※岡崎城西、岡崎北、刈谷は県大会へ。

〈女子〉

▼1回戦
岩津 22－3 高浜
刈谷北 20－19 衣台
安城 16－12 吉良
安城南 11－4 知立
岡崎 23－4 豊田
岡崎北 18－9 西尾東
一色 19－7 愛教大附

▼2回戦
安城学園 21－3 岩津
西尾 20－5 岡崎商
幸田 29－8 刈谷北
豊田南 12－6 安城
岡崎東 17－5 安城南
岡崎 17－5 碧南
刈谷 17－11 岡崎北
三好 20－6 一色

▼3回戦
安城学園 13－7 西尾
幸田 11－5 豊田南
岡崎 7－6 岡崎東
三好 17－6 刈谷

▼準決勝
安城学園 18－12 幸田
三好 15－9 岡崎

▼3位決定戦
幸田 13－6 岡崎

▼決勝
安城学園 13－12 三好

※安城学園、三好、幸田は県大会へ。

【知多支部予選】（11月18、23日／半田高、武豊高）

〈男子〉
東浦 17－12 大府
東海南 24－16 常滑北
横須賀 25－9 半田工
武豊 33－11 知多東

▼2回戦
半田 31－7 東浦
知多 19－16 大府
横須賀 19－16 東海南
半田東 24－8 武豊

▼準決勝
半田 26－7 知多
半田東 15－11 横須賀

▼決勝
半田東 12－10 半田

※半田東、半田は県大会へ。

〈女子〉

▼1回戦
知多東 6－4 大府東
常滑北 14－4 横須賀
半田東 19－10 内海
半田 13－5 東海南
大府 21－7 桃陵
阿久比 26－4 知多
武豊 17－8 東海商

▼2回戦
半田商 22－4 知多東
常滑北 12－10 半田東
半田 23－6 大府
武豊 20－6 阿久比

▼準決勝
常滑北 10－9 半田商
武豊 12－8 半田

▼決勝
武豊 12－7 常滑北

※武豊、常滑北は県大会へ。

【名南支部予選】（11月11、18、23日／名南工、豊明、名短付、若宮商、桜台）

〈男子〉

▼1回戦
享栄 19－17 名市工
中村 22－21 松蔭
緑 45－15 星城

豊明 26-22 惟信
大谷 25-20 向陽
天白 40-13 名城大附
南陽 19-18 熱田
富田 33-10 名商大付
昭和 24-18 日進
鳴海 34-14 名古屋南

▼2回戦
中京 37-6 享栄
中村 33-10 東郷
緑 40-7 豊明
瑞陵 25-7 大谷
名南工 29-9 天白
南陽 23-21 日進西
富田 33-22 昭和
桜台 40-15 鳴海

▼3回戦
中京 30-16 中村
緑 24-15 瑞陵
名南工 24-4 南陽
桜台 26-11 富田

▼準決勝
中京 24-21 緑
桜台 22-17 名南工

▼3位決定戦
緑 18-12 名南工

▼決勝
桜台 26-21 中京

※桜台、中京、緑は県大会へ。

〈女子〉

▼1回戦
中村 30-4 名古屋南
緑 17-3 名女大
昭和 18-6 東郷
向陽 14-10 熱田
東海女 7-5 豊明
日進西 12-12（2PTC1）松蔭

▼2回戦
名短付 32-4 中村
緑 12-10 天白
昭和 16-11 惟信
中川商 8-5 向陽
若宮商 不戦勝 東海女
南陽 24-9 日進
桜台 33-1 日進西

▼3回戦
名短付 23-2 緑
昭和 13-12 中川商
南陽 12-9 若宮商
桜台 13-8 瑞陵

▼準決勝
名短付 35-1 昭和
桜台 13-6 南陽

▼3位決定戦
南陽 17-15 昭和

▼決勝
名短付 14-9 桜台

※名短付、桜台、南陽は県大会へ。

［名北支部予選］
（11月18、23、25日／緑丘商）

〈男子〉

▼1回戦
千種 27-9 明和
愛知工 24-11 春日井商
瀬戸西 28-3 東山工
春日井東 22-12 名古屋西
山田 34-4 栄徳
春日丘 18-18（2PTC0）春日井工
北 20-13 長久手
春日井 29-17 東邦
高蔵寺 19-16 旭野
瀬戸 36-9 名学院
市工芸 20-14 春日井西

▼2回戦
愛知 28-9 千種
愛知工 22-15 瀬戸西
春日井東 32-14 山田
東海 39-14 春日丘
守山 16-15 北
菊里 27-10 春日井
高蔵寺 23-17 瀬戸
旭丘 33-8 市工芸

▼3回戦
愛知 33-8 愛知工
春日井東 25-16 東海
守山 19-13 菊里
旭丘 28-17 高蔵寺

▼準決勝
愛知 13-11 春日井東
旭丘 24-15 守山

▼3位決定戦
春日井東 14-12 守山

▼決勝
愛知 17-15 旭丘

※愛知、旭丘、春日井東は県大会へ。

〈女子〉

▼1回戦
瀬戸 13-1 春日井西
菊里 23-4 春日井商
旭野 14-5 北
山田 13-6 椙山
春日井 15-5 千種
淑徳 11-5 名古屋商
春日井東 13-9 明和

▼2回戦
緑丘商 24-2 瀬戸
西陵商 16-8 長久手
菊里 19-9 瀬戸西
中京女 22-4 旭野
高蔵寺 19-14 山田
愛知商 15-15（3PTC2）春日井
淑徳 17-10 名古屋西
市邨 38-5 春日井東

▼3回戦
緑丘商 20-4 西陵商
中京女 10-9 菊里
高蔵寺 14-10 愛知商
市邨 27-9 淑徳

▼準決勝
緑丘商 14-13 中京女
市邨 28-5 高蔵寺

▼3位決定戦
中京女 19-12 高蔵寺

▼決勝
市邨 18-5 緑丘商

※市邨、緑丘商、中京女は県大会へ。

［尾張支部予選］
（10月28日、11月3、4日／一宮高、一宮商高）

〈男子〉

▼1回戦
丹羽 15-10 津島
江南 13-8 稲沢東
佐織工 22-16 五条
一宮北 20-13 興道
平和 17-10 尾北
岩倉 19-12 津島東
小牧南 15-9 木曽川
起工 27-11 稲沢
西春 14-12 尾西
一宮南 17-13 一宮工
美和 16-13 犬山

▼2回戦
一宮 20-10 丹羽
佐織工 16-14 江南
一宮西 13-6 岩倉
蟹江 22-5 小牧南
西春 21-7 起工
小牧工 15-6 一宮南
犬山南 26-12 美和

▼3回戦
一宮 32-6 佐織工
一宮西 22-10 一宮北
蟹江 19-8 西春
犬山南 20-13 小牧工

▼準決勝
一宮 19-4 一宮西
犬山南 17-11 蟹江

▼3位決定戦
一宮西 13-12 蟹江

一宮 19－13 犬山南
※一宮、犬山南、一宮西は県大会へ。

〈女子〉
▼1回戦
一宮女 9－5 津島
一宮 11－2 津島東
小牧南 11－7 古知野
一宮西 '9－4 犬山
江南 20－6 一宮南
犬山南 39－1 美和
一宮北 18－7 稲沢東
▼2回戦
佐屋 7－5 一宮女
一宮商 9－6 一宮
尾北 17－1 平和
盤江 14－5 小牧南
岩倉 17－7 一宮西
西春 18－3 江南
犬山南 16－15 興道
尾西 15－7 一宮商
▼3回戦
佐屋 18－5 一宮商
盤江 10－9 尾北
西春 12－4 岩倉
尾西 13－8 犬山南
▼準決勝
佐屋 8－5 盤江
尾西 11－8 西春
▼3位決定戦
西春 10－8 盤江
▼決勝
尾西 10－8 佐屋
※尾西、佐屋、西春は県大会へ。

【県大会】
（1月13、15、20日／露橋スポーツセンター、桜台高、名短付高、ブラザー工業）
〈男子〉
▼1回戦
中京 28－6 刈谷
一宮 26－12 豊橋工
犬山南 20－14 岡崎北
愛知 22－18 緑
岡崎城西 32－10 一宮西
旭丘 16－12 半田東
半田 16－14 国府
桜台 22－20 春日井東
▼2回戦
中京 30－13 一宮
愛知 29－11 犬山南
旭丘 20－18 岡崎城西
桜台 21－18 半田
▼決勝リーグ
中京 15－14 愛知
桜台 23－12 旭丘
中京 27－13 桜台
愛知 23－20 旭丘
愛知 19－16 桜台
中京 26－23 旭丘
◎順位①中京②愛知③桜台④旭丘
※中京は4年ぶり9回目の優勝。

〈女子〉
▼1回戦
市郡 19－3 西春
桜台 14－6 三好
佐屋 11－4 豊橋西
名短付 34－2 常滑北
安城学園 19－1 南陽
中京女 17－11 武豊
尾西 10－7 国府
緑丘商 16－10 幸田
▼2回戦
市郡 12－8 桜台
名短付 36－7 佐屋
中京女 15－12 安城学園
緑丘商 20－3 尾西
▼決勝リーグ
名短付 14－10 市郡
緑丘商 10－9 中京女
市郡 14－6 中京女
名短付 9－6 緑丘商
名短付 11－7 中京女
市郡 12－7 緑丘商
◎順位①名短付②市郡③緑丘商④中京女
※名短付は2年連続5回目の優勝。

愛媛県高校新人大会

〈男子〉
▼1回戦
松山南 21－11 伊予
新田 18－10 今治工
松山北 26－11 今治東
松山東 26－14 新居浜西
▼2回戦
松山西 25－14 松山南
新田 17－15 今治西
松山北 26－13 宇和島南
新居浜工 35－18 松山東
▼準決勝
松山西 20－13 新田
新居浜工 17－9 松山北
▼決勝
新居浜工 23（14－3、9－4）7 松山西
▼代表決定戦
松山南 17－15 宇和島南
松山東 17－14 今治西

〈女子〉
▼1回戦
東温 15－13 今治西
今治北 22－8 三崎
松北中島 22－10 土居
新居浜商 16－9 松山商
▼2回戦
松山北 20－10 東温
大島 8－8 今治北（PTC 1－0）
松山西 15－8 松北中島
今治南 16－9 新居浜商
▼準決勝
松山北 13－8 大島
今治南 16－9 新居浜商
▼決勝
今治南 14（3－4、4－3、5－0、2－0）7 松山北
▼代表決定戦
今治北 18－5 新居浜商
東温 15－13 松北中島

第22回群馬県民体育大会

（11月4日）
〈男子〉
▼1回戦
高崎市 29－10 桐生市
前橋市 27－24 富岡市
甘楽郡 36－12 沼田市
▼準決勝
前橋市 21－20 高崎市
甘楽郡 20－17 藤岡市
▼決勝
前橋市 25（14－7、11－12）19 甘楽郡

〈女子〉
▼1回戦
高崎市 13－12 富岡市
▼準決勝
甘楽郡 26－3 桐生市
高崎市 18－9 前橋市
▼決勝
高崎市 14（8－5、6－7）12 甘楽郡

秋田県高校新人大会

（11月11、12日）
〈男子〉
▼1回戦
温沢 29－5 秋田南
羽後 20－19 横手
大曲農 28－12 温沢稲川
▼準決勝
温沢 25－18 大曲

大曲農 29－22 羽後
▼3位決定戦
大曲 30－26 羽後
▼決勝
温沢 21（11－10、10－3）13 大曲農
〈女子〉
▼1回戦
和洋女 28－2 大曲
大曲農 19－12 温沢
▼3位決定戦
温沢 16－5 大曲
▼決勝
大曲農 17（7－7、10－4）11 和洋女

千葉県実業団秋季リーグ戦

（11月10、11、18日／出光石油化学体育館）
▼リーグ戦
海自下総 35－14 丸善石油
丸善石油 22－21 三井石油化学
三井石油化学 34－13 日産石油化学
海自下総 32－24 出光千葉
丸善石油 38－11 日産石油化学
三井石油化学 26－21 出光千葉
出光千葉 36－22 日産石油化学
丸善石油 27－16 出光千葉
海自下総 23－22 三井石油化学
海自下総 41－19 日産石油化学
［順位］①海上自衛隊下総②丸善石油千葉③三井石油化学千葉④出光千葉⑤日産石油化学

宮城県総合選手権大会

（11月21～24日）
〈男子〉
▼1回戦
仙台南 24－13 電子
▼2回戦
全育英 38－9 仙台南
塩釜 20－13 仙台商
仙台二 25－19 名取北
宮教大 34－12 福祉大
古川工OB 46－12 泉松陵
学院工 29－21 電波
東北大OB 37－7 宮城水産
東北大 26－7 仙台西
仙台 29－14 一迫
北辰ク 18－16 佐沼
学院大 33－18 仙台大OB
向山 23－20 古川工
古川商 24－11 仙台三
古川 20－19 育英
宮城教員 48－3 泉館山
▼3回戦
全育英 38－12 塩釜
宮教大 30－18 仙台二
古川工OB 41－19 学院工
学院OB 19－18 東北大OB
東北大 29－11 仙台
学院大 43－7 北辰ク
古川商 26－13 向山
宮城教員 35－13 古川
▼4回戦
全育英 25－11 宮教大
学院OB 30－25 古川工OB
学院大 20－19 東北大
宮城教員 32－15 古川商
▼5回戦
全育英 27－26 学院OB
宮城教員 25－21 学院大
▼代表決定リーグ
仙台大 27－27 宮城教員
仙台大 31－15 全育英
宮城教員 23－20 全育英
［順位］①仙台大②宮城教員③全育英
〈女子〉
▼1回戦
涌谷 31－3 仙台女商
二華会 7－6 朴沢
名取北 7－5 一女
仙台西 24－6 泉松陵
▼2回戦
聖和 17－9 涌谷
古川ク 14－8 古川女
二女 15－2 三女
飯の川 20－1 二華会
塩釜女 8－5 名取北
飯の川OG 16－7 福祉大
桜球会 15－3 築女
古川商 21－3 仙台西
▼3回戦
聖和 23－11 古川ク
飯の川 12－8 二女
飯の川OG 14－13 塩釜女
桜球会 15－9 古川商
▼準決勝
聖和 16－6 飯の川
飯の川OG 21－13 桜球会
▼決勝
聖和 23（12－5、11－3）8 飯の川OG

長崎県高校新人大会

（11月17、18日）
〈男子〉
▼1回戦
日大高 27－9 長崎北
長崎工 30－10 鹿町工
上五島 29－19 西彼
長崎南 25－12 佐世保西
北陽台 35－19 佐世保商
波佐見 34－24 口加
佐世保北 37－7 大村
瓊浦 35－13 西海
▼2回戦
日大高 32－7 長崎工
長崎南 25－22 上五島
北陽台 30－11 波佐見
瓊浦 23－17 佐世保北
▼準決勝
日大高 27－10 長崎南
瓊浦 19－13 北陽台
▼3位決定戦
北陽台 18－17 長崎南
▼決勝
瓊浦 16（7－6、9－8）14 日大高
〈女子〉
▼1回戦
長崎北 11－6 日大高
佐世保西 14－13 有馬商
佐世保商 20－5 島原農
佐世保北 34－3 佐世保商
▼3位決定戦
佐世保商 11－9 佐世保西
▼決勝
佐世保北 18（9－1、9－5）6 長崎北

三重県高校秋季選手権

（11月23、24、25日）
〈男子〉
▼1回戦
四日市 21－7 四日市西
四日市南 19－8 亀山
桑名西 19－15 津西
▼2回戦
四日市中央工 18－11 津
津東 14－9 桑名北
海星 21－19 日生第二
尾鷲 28－11 四日市四郷
桑名 22－10 四日市
四日市南 19－18 津工
桑名工 18－12 高田
四日市工 37－0 桑名西
▼3回戦
桑名 33－10 四日市中央工
四日市工 25－11 尾鷲
四日市南 27－15 海星
津東 23－8 桑名工
▼準決勝

四日市工 33－6 津東
桑名 22－16 四日市南

▼決勝
四日市工 33（18－5、15－4）9 桑名

〈女子〉
▼1回戦
尾鷲 9－4 桑名
四日市商 13－9 上野
四日市西 12－7 四日市
四日市南 16－6 四日市四郷
津 21－4 松阪女
津西 15－1 桑名北
津東 12－6 亀山

▼2回戦
尾鷲 20－1 津
暁 31－3 津西
四日市南 14－8 四日市西
四日市商 19－5 津東

▼準決勝
暁 13－12 尾鷲
四日市商 14－3 四日市南

▼決勝
暁 13（7－4、6－5）9 四日市南

第12回青森県秋季社会人選手権

（11月24、25日）

〈男子〉
▼1回戦
七戸ユニオン 37－11 弘前大
弘前ク 27－18 尾の上ク

▼2回戦
七戸ユニオン 32－23 野辺地ク
青商ク 29－25 青森クB
青森教員ク 45－16 青森陸自
青森ク 32－25 弘前ク

▼準決勝
青商ク 31－29 七戸ユニオン
青森ク 27－26 青森教員ク

▼決勝
青森ク 32（18－16、14－15）31 青商ク

〈女子〉
▼1回戦
七戸CATS 11－10 全青森中央
あすなろク 25－22 野辺地高

▼決勝
あすなろク 28（12－7、16－11）18 七戸CATS

茨城県高校新人大会

（11月20、21日、12月14～16日）

〈男子〉
▼1回戦
岩井 33－8 土浦湖北
土浦一 20－9 勝田
笠間 36－10 古河二
下館一 18－17 玉造工
日立一 21－15 岩井西
勝田工 27－20 土浦工
藤代紫水 19－16 鉾田一
水海道一 19－14 江戸川学園
麻生 20－10 藤代
土浦三 20－10 石岡一
竜ケ崎一 31－5 茨城
水戸工 24－15 波崎
牛久 21－13 緑岡
八郷 30－17 鹿島灘

▼2回戦
竹園 20－18 岩井
笠間 30－7 土浦一
下館一 25－21 日立一
藤代紫水 31－15 勝田工
麻生 18－10 水海道一
竜ケ崎一 16－13 土浦三
水戸工 19－15 牛久
太田一 23－20 八郷

▼3回戦
竹園 26－17 笠間
藤代紫水 28－17 下館一
竜ケ崎一 28－17 麻生
太田一 35－15 水戸工

▼準決勝
太田一 23－14 竜ケ崎一
竹園 23－15 藤代紫水

▼3位決定戦
藤代紫水 18－15 竜ケ崎一

▼決勝
竹園 29（14－5、15－10）15 太田一

〈女子〉
▼1回戦
潮来 24－4 岩井
太田二 10－7 下妻二
竜ケ崎二 24－3 岩井西
石岡二 11－8 土浦三
八郷 13－7 那珂湊二
下館二 15－11 牛久
結城二 19－2 笠間
麻生 14－9 土浦二

▼2回戦
竜ケ崎一 8－7 潮来
太田二 13－6 日立二
竜ケ崎二 22－6 波崎
水海道二 16－4 石岡二
高萩 10－9 八郷
藤代紫水 11－9 下館二
結城二 19－3 水戸二
麻生 12－4 鉾田二

▼3回戦
竜ケ崎一 13－6 太田二
水海道二 16－2 竜ケ崎二
藤代紫水 12－8 高萩
結城二 13－13（3PTC1）麻生

▼準決勝
水海道二 14－7 竜ケ崎一
結城二 16－9 藤代紫水

▼3位決定戦
竜ケ崎一 11－5 藤代紫水

▼決勝
水海道二 15（7－7、8－4）11 結城二

会長杯争奪第2回愛知県トーナメント大会

（12月3～7日）

〈男子〉
▼1回戦
大同特殊鋼 26－9 愛知教員
トヨタ車体 25－24 中部大
中京大 35－17 桜丘会
トヨタ自動車 31－23 大同ク

▼準決勝
大同特殊鋼 33－7 トヨタ車体
トヨタ自動車 19－16 中京大

▼決勝
大同特殊鋼 34（16－6、18－10）16 トヨタ自動車

〈女子〉
▼1回戦
ブラザー工業 36－5 日本福祉大
中京女大 26－12 名古屋ク

▼決勝
ブラザー工業 38（18－1、20－6）7 中京女大

第3回愛媛レディスハンドボールフェスティバル

（12月9日／県総合運動公園体育館）

▼リーグ戦
松商ク 8－8 ぶんやあず
みなみ 14－2 今北OG
新居浜ク 13－4 松商ク
今北OG 11－5 ぶんやあず
新居浜ク 12－10 みなみ
今北OG 7－5 松商ク
みなみ 17－5 ぶんやあず
新居浜ク 16－3 今北OG
みなみ 15－4 松商ク
新居浜ク 14－6 ぶんやあず

【順位】①新居浜ク②みなみ③今北OG④松商ク⑤ぶんやあず

全国高校選抜鳥取県予選

（12月15、17日）

〈男子〉

▼1回戦
境港工 26－10 米子東
倉吉工 37－9 倉吉東
米子北 14－8 米子西

▼準決勝
境港工 20－17 境
米子北 19－12 倉吉工

▼決勝
境港工 18（9－4、9－5）9 米子北

〈女子〉

▼1回戦
米子北 15－3 倉吉西
米子南商 15－6 米子東
米子西 13－5 倉吉産

▼準決勝
境 31－4 米子北
米子南商 11－4 米子西

▼決勝
境 23（10－2、13－1）3 米子南商

第3回愛知県中学生大会

（12月16、23日）

〈男子〉

▼1回戦
東陵 29－6 尾西一
春日井中部 21－4 新郊
犬山 12－8 豊橋南
美川 17－6 天王

▼2回戦
東陵 20－10 知立南
春日井中部 22－8 大塚
汐路 22－9 犬山
美川 17－11 富木島

▼準決勝
東陵 11－7 春日井中部
汐路 13－8 美川

▼決勝
汐路 17（7－6、4－5、2－1、1－2、1－1、2－1）16 東陵

〈女子〉

▼1回戦
弥富 12－6 三谷
河和 13－5 犬山南
尾西一 8－7 美川
汐路 23－6 牟呂

▼2回戦
神沢 25－8 弥富
河和 15－13 六ツ美
尾西一 18－7 大高
汐路 8－8 春日井中部（2 PTC 1）

▼準決勝
神沢 15－9 河和
汐路 15－2 尾西一

▼決勝
汐路 8（2－5、5－2、0－0、1－0）7 神沢

第33回福岡県高校室内（新人）選手権

（12月25日、26日）

〈男子〉

▼1回戦
小倉西 15－7 西陵
福岡 20－9 三池
九産 15－7 新宮
若松 26－17 田川工
西南 24－6 筑紫丘
東海五 13－13 小倉工（1 PTC 0）
宗像 15－9 博多工
久工大附 27－5 福岡工

▼2回戦
福岡 19－18 小倉西
九産 31－7 若松
西南 25－7 東海五
久工大附 27－7 宗像

▼準決勝
九産 12－11 福岡
久工大附 33－11 西南

▼3位決定戦
西南 25－12 福岡

▼決勝
久工大附 24（10－9、14－5）14 九産

〈女子〉

▼1回戦
福岡 8－6 九州女
筑紫中央 13－5 新宮

▼2回戦
福岡 13－3 若松
東海五 16－4 三井
筑紫女 9－3 宗像
春日 13－12 筑紫中央

▼準決勝
福岡 9－8 東海五
筑紫女 25－3 春日

▼3位決定戦
東海五 16－8 春日

▼決勝
筑紫女 12（7－1、5－3）4 福岡

愛媛県高校1年生大会

（12月25、26日／今治西高）

〈男子〉

▼1回戦
今治西 20－9 松山北
新居浜工 10－9 新田
松山西 25－10 今治工
今治東 38－8 吉田

▼準決勝
松山西 16－10 今治東
今治西 17－13 新居浜工

▼決勝
今治西 17（12－8、5－7）15 松山西

〈女子〉

▼1回戦
東温 15－2 大島
松山北 11－3 新居浜商
今治北 21－13 松山北中島

▼準決勝
今治北 13－5 松山西
東温 14－8 松山北

▼決勝
今治北 18（11－2、7－5）7 東温

東京都高校新人大会

〈男子〉

▼予選リーグ

○イ・ブロック
南野 16－15 富士森

○ロ・ブロック
深川 19－4 大泉学園
開成 24－13 深川
開成 43－1 大泉学園

○ハ・ブロック
砂川 22－3 五商
砂川 16－15 武蔵
武蔵 17－9 五商

○ニ・ブロック
墨田川 13－12 早大学院
早大学院 30－9 白鴎
墨田川 18－8 白鴎

○ホ・ブロック
清瀬 38－5 武蔵村山
国分寺 43－6 武蔵村山

国分寺 27－10 清瀬

○へ・ブロック
井草 18－8 本所
井草 17－10 上野
上野 11－7 本所

○ト・ブロック
羽村 19－12 稲城
稲城 9－9 田無工
羽村 14－11 田無工

○チ・ブロック
江北 8－7 大崎
筑波大附 20－20 大崎
江北 20－8 筑波大附

○リ・ブロック
明星学園 24－12 錦城
明星学園 15－11 野津田
野津田 20－15 錦城

○ヌ・ブロック
大泉北 28－5 雪谷
大泉北 28－17 武蔵工大
武蔵工大 14－8 雪谷

○ル・ブロック
府中東 23－13 調布北
中大附 23－6 府中東
中大附 37－11 調布北

○ヲ・ブロック
武蔵村山東 27－16 忠生
小金井北 33－8 忠生
武蔵村山東 36－25 小金井北

○ワ・ブロック
豊多摩 27－10 世田谷工
青山学院 22－14 豊多摩
青山学院 25－13 世田谷工

○カ・ブロック
国立 20－13 三鷹
東大和 19－17 三鷹
国立 20－12 東大和

○ヨ・ブロック
農大一 40－19 蒲田
農大一 42－5 光丘
蒲田 25－13 光丘

○タ・ブロック
保谷 17－12 八王子東
八王子東 13－10 創価
保谷 18－14 創価

○レ・ブロック
修徳 26－4 南
修徳 26－8 城西
城西 キケン 南

○ソ・ブロック
小平西 32－11 久留米
小平西 32－11 武蔵野北
武蔵野北 20－13 久留米

○ツ・ブロック
両国 13－11 科学技
広尾 27－13 両国
広尾 27－8 科学技

○ネ・ブロック
東村山 16－6 昭和一
東村山 32－13 館
昭和一 27－13 館

○ナ・ブロック
日大二 43－13 小石川工
日大二 27－9 足立
足立 25－21 小石川工

○ラ・ブロック
秋川 キケン 松ヶ谷
立川 キケン 松ヶ谷
立川 32－12 秋川

○ム・ブロック
小岩 27－8 荻窪
小岩 キケン 三宅
荻窪 キケン 三宅

○ウ・ブロック
成城 22－20 鷺宮
鷺宮 22－15 葛飾野
成城 30－18 葛飾野

○ヰ・ブロック
石神井 25－20 東
篠崎 27－18 東
石神井 24－11 篠崎

○ノ・ブロック

城北 23－19 明正
西 30－13 明正
西 36－16 城北

○オ・ブロック
目黒 26－13 駒大
駒大 28－8 駿台学園
目黒 33－8 駿台学園

○ク・ブロック
八王子工 16－12 秋留台
八王子工 46－8 東大和南
秋留台 28－12 東大和南

○ヤ・ブロック
大泉 20－8 南葛飾
佼成 27－12 大泉
佼成 23－8 南葛飾

○マ・ブロック
福生 20－8 田無
府中西 20－14 田無
福生 21－21 府中西

○ケ・ブロック
青山 20－10 杉並
早実 24－13 杉並
早実 27－14 青山

○フ・ブロック
南多摩 21－17 昭島
南多摩 32－6 日野台
昭島 22－12 日野台

○コ・ブロック
富士 33－13 東京
筑波大駒場 16－15 富士
筑波大駒場 18－17 東京

▼決勝トーナメント1回戦
開成 23－13 南野
江北 17－13 羽村
大泉北 21－14 明星学園
青山学院 25－19 武蔵村山東
修徳 22－11 保谷
広尾 31－14 小平西
石神井 32－12 成城
目黒 18－11 西
筑波大駒場 22－13 南多摩

▼2回戦
明星 36－7 開成
砂川 22－18 墨田川
国分寺 10－9 井草
学芸大附 30－10 江北
日野 22－16 大泉北
中大附 23－7 青山学院
農大一 24－15 国立
神代 16－14 修徳
日体荏原 32－18 広尾
東村山 23－14 日大二
小岩 18－12 立川
石神井 19－17 拓大一
府中 22－7 目黒
佼成 30－15 八王子工
早実 24－16 福生
江戸川 20－14 筑波大駒場

▼3回戦
明星 40－16 砂川
学芸大附 14－13 国分寺
中大附 18－16 日野
農大一 14－13 神代
日体荏原 23－12 東村山
石神井 20－16 小岩
府中 19－15 佼成
早実 17－11 江戸川

▼準々決勝
明星 30－8 学芸大附
中大附 20－8 農大一
日大荏原 21－15 石神井
早実 22－19 府中

▼準決勝
明星 19－12 中大附
日体荏原 27－15 早実

▼決勝
明星 22 $\left\{ \begin{array}{c} 9-12 \\ 13-8 \end{array} \right\}$ 20 日体荏原

〈女子〉

▼予選リーグ

○あ・ブロック
府中西 19－1 舘

○い・ブロック
学芸大附 15－6 菊華
菊華 キケン 練馬
学芸大附 キケン 練馬
○う・ブロック
国立 9－2 調布
○え・ブロック
西 キケン 杉並
葛飾商 キケン 杉並
西 16－6 葛飾商
○お・ブロック
武蔵 7－2 小金井北
田無 8－6 小金井北
田無 10－8 武蔵
○か・ブロック
南葛飾 キケン 荻窪
○き・ブロック
共立二 9－7 拓大二
拓大一 18－3 二商
共立二 16－3 二商
○く・ブロック
井草 15－3 本所
本所 キケン 東
井草 キケン 東
○け・ブロック
富士森 12－2 保谷
日野 16－6 保谷
日野 13－5 富士森
○こ・ブロック
江戸川 19－3 大泉北
大泉北 10－7 関東女
江戸川 16－7 関東女
○さ・ブロック
小平 18－6 府中東
小平 22－10 武蔵野女
府中東 10－5 武蔵野女
○し・ブロック
石神井 23－0 三商
石神井 23－0 小岩
小岩 12－5 三商
○す・ブロック
吉祥女 11－4 八王子東
東村山 19－6 八王子東
東村山 17－5 吉祥女
○せ・ブロック
富士 18－1 豊多摩
目黒 8－5 豊多摩
富士 12－4 目黒
○そ・ブロック
日野台 18－8 清瀬東
日野台 20－5 武蔵野北
清瀬東 10－3 武蔵野北
○た・ブロック
雪谷 11－8 明正
農大一 23－3 明正
農大一 26－3 雪谷
○ち・ブロック
農業 キケン 松ヶ谷
国分寺 25－7 農業
国分寺 キケン 松ヶ谷
○つ・ブロック
広尾 8－4 白鴎
光丘 7－3 白鴎
広尾 19－4 光丘
○て・ブロック
武蔵丘 7－6 篠崎
武蔵丘 6－2 南
篠崎 14－2 南
○と・ブロック
武蔵村山東 19－1 小平西
東大和 20－3 武蔵村山東
東大和 31－1 小平西
○な・ブロック
青山学院 14－0 一商
青山学院 8－2 大泉学園
大泉学園 12－2 一商
○に・ブロック
福生 30－4 羽村
砂川 11－3 羽村
福生 16－10 砂川
○ぬ・ブロック
江東商 40－2 鷺宮
江東商 26－0 上野
上野 10－3 鷺宮
○ね・ブロック
五商 27－2 清瀬
五商 10－9 府中
府中 19－6 清瀬
○の・ブロック
立教女 18－2 四谷商
立教女 15－2 葛飾野
葛飾野 14－2 四谷商

▼決勝トーナメント1回戦
広尾 11－3 武蔵丘

▼2回戦
佼成 21－3 府中西
国立 5－4 学芸大附
西 9－5 田無
日体桜華 19－2 南葛飾
共立二 13－5 墨田川
日野 9－6 井草
小平 11－10 江戸川
神代 18－5 石神井
桐朋 21－5 東村山
富士 14－6 日野台
国分寺 7－2 農大一
明星学園 9－5 広尾
藤村女 13－4 東大和
青山学院 6－5 福生
江東橋 13－7 五商
桜水商 15－10 立教女

▼3回戦
佼成 17－6 国立
日体桜華 12－5 西
日野 24－2 共立二
神代 20－4 小平
桐朋 18－5 富士
国分寺 18－5 明星学園
藤村女 16－5 青山学院
江東商 12－4 桜水商

▼準々決勝
佼成 11－8 日体桜華
神代 11－6 日野
桐朋 15－12 国分寺
藤村女 15－13 江東商

▼準決勝
佼成 14－6 神代
藤村女 19－17 桐朋

▼決勝
藤村女 15（8－7, 7－5）12 佼成

第62回愛知県実業団リーグ戦

（1月16日～25日）

〈一部〉
トヨタ自動車 32－18 新日鉄名古屋
大同特殊鋼 34－10 新日鉄名古屋
トヨタ車体 21－17 豊田自動織機
トヨタ車体 25－17 日本電機
トヨタ自動車 31－28 トヨタ車体
大同特殊鋼 51－12 日本電装
大同特殊鋼 29－8 豊田自動織機
トヨタ自動車 36－21 日本電装
トヨタ自動車 23－22 豊田自動織機
豊田自動織機 20－11 新日鉄名古屋
新日鉄名古屋 24－17 日本電装
トヨタ車体 34－16 新日鉄名古屋
豊田自動織機 29－14 日本電装
大同特殊鋼 35－18 トヨタ自動車
大同特殊鋼 23－16 トヨタ車体

【順位】①大同特殊鋼②トヨタ自動車③トヨタ車体④豊田自動織機⑤新日鉄名古屋⑥日本電装

〈2部〉
【順位】①豊田合成②豊田工機③日本碍子④アイシン精機⑤パイロットインキ⑥東海理化⑦ブラザー工業

三重県中学生新人大会

（1月20、27日／鈴鹿市体育館、ジャスコ富田体育館）

〈男子〉
▼1回戦
西朝明 22－6 白子
亀山 14－11 菰野
明和 25－3 東員
西笹川 24－4 東員第二

▼準決勝
西朝明 12－10 亀山
西笹川 30－4 明和

▼決勝
西笹川 25（11－3, 14－2）5 西朝明

〈女子〉
▼1回戦
大安 10－7 笹川
西笹川 27－4 柘植
朝明 23－8 白子
菰野 14－9 亀山
西朝明 19－6 名張北
明和 19－10 北勢
羽津 11－4 東員第二

▼2回戦
西笹川 19－5 大安
菰野 9－7 朝明
西朝明 20－10 明和
桔梗が丘 12－7 羽津

▼準決勝
西笹川 8－4 菰野
西朝明 15－3 桔梗が丘

▼決勝
西笹川 7（4－3, 3－1）4 西朝明

あなたもハンドボール歴史人…

50回目の誕生日を2年後に控えて

日本ハンドボール史編集委だより

(財)日本ハンドボール協会の前身、日本ハンドボール協会は、昭和13年2月2日に発足しました。

そのあとは、全国愛好者の情熱に支えられ、厳しいながらも、力強い足どりで、球史を刻みつづけ、2年後、昭和62年2月2日には「50回目の誕生日を」迎えます。

日本協会では、半世紀に及ぶ激動の歩みをふりかえながら、新しいステップを踏み出すにふさわしい多採な記念事業を検討していますが、その第一弾として、懸案の「日本ハンドボール史」の刊行を決定いたしました。

昨年11、12月の常務理事会で、特別委員会の編成を申し合せ、後掲のメンバーによって、早々と活動のスタートが切られましたが、12月16日の第1回編集委員会では、『記会誌は、単に日本協会の足跡をふりかえるだけではなく、大正12年夏にハンドボールが日本へ紹介されたその日からの歩みを可能な限り集める』という画期的な方針を打ち出しました。

委員長の入江信太郎理事は、日本ハンドボール界のパイオニアであり、その他の委員も、日本ハンドボール界にあって、主に総務、渉外、広報など、歴史の側面で多くの功績を残された人ばかり、記念誌の編集委員には、このメンバーをおいて他にない、ともいえる構成です。

しかし、これまでの日本協会の事業で、その時々の歴史を記録、保存する体制が整っていないこともあり、手持ちのデータはゼロに近いのが現況です。

そこで、これから約一年間、本誌に特別ページを設けさせていただき、編集委員会の進行状態をお報せするとともに、全国の愛好者そして全国に点在するOB、OGのかた、スポーツ・体育史研究家のかたなどから、資料、文献のご提供などを呼びかけたいと思います。

多くのかたのご協力とご支援をお願い申しあげます。

○…編集委員とそのプロフィール…○

▽委員長　入江信太郎
昭和12年にプレーの経験をもつ貴重な〝歴史人〟。
現在も日本協会常務理事として活躍、50周年記念事業委員長をつとめる。

▽委員　外山　進二
一足早く関東協会30年史をまとめあげた。日体OB。
昭和20年代、日本協会の復興期に理事長として敏腕を揮われた。
戦前も理事、審判、プレイヤーの三役をこなし、草創期最大の功労者といわれる。慶大の初代キャプテン。

▽委員　嶋田新太郎
元高体連ハンドボール部長、戦前のプレイヤー。そのあと審判界にも力をつくしたが、40年代後半いわゆる荒川体制の名総務として抜群のマネージングを示したのは印象深い。日体OB。

▽委員　村田　弘
日体ー大阪クで鳴らした名選手。豊かなキャリアを生かし、全日本男子監督、強化部長など日本の頂点強化の中心だった。
その一方で、内外の球界情勢の収集を手がけていた日体OB。

▽委員　岡村　昭二
日本協会のオフィスワークの基礎固めをした、といわれる名総務。
選手、レフェリーとしての実績も輝やかしい。
氏の貴重な資料で、戦後球界史の新しい発掘ができると思われる。筑波大OB。

▽委員　新井　節男
医学博士、当然のことながらセオリスト。
この日あるを期して、これまでにも戦前の球界資料の収集にあたってもいた。現後時代はGK。日体OB。

▽委員　藤本　強
本誌を日本スポーツ界最高の機

関誌と評価を高めさせたかつての名編集長。
日本考古学界の俊才としても折り紙つきの人。東大ＯＢ。

▽委員　杉山　茂

学生時代から内外ハンドボールの記録、資料を収集したマニア。本誌創刊から20年近く編集スタッフをつづけた。編集責任者として入江委員長の補佐。慶大ＯＢ。

▽委員　滝口　三郎

首都協会を切り廻すサムライ。学生時代からプレイヤーを兼ねてつねに球界運営にたずさわる。地味ながら的確な方向を示すことで定評がある。明大ＯＢ。

▽委員　水上　一

筑波大女子監督。球技史などについても明かるく、今回の刊行では、主に国際編で豊かな知識を展開させてくれる。筑波大ＯＢ。

▽委員　川上　整司

入江委員長とともに日本協会現執行部の代表格で参画。
今期は広報の重要ポストについて若い感覚に期待を抱かせる。元中大附属高監督、日体ＯＢ。

◇　◇　◇

以上が編集メンバーです。試合場などで、この人たちに会ったり見つけたら「記念誌」について、どんな注文でもしてください。
もちろん、資料、情報の提供は大歓迎です。

さて、最初からお願いばかりですが、次の各項目について、ご存知のかた、ご一報下さい。

★日本にハンドボールが紹介されたのは大正12年夏とされていますが、その正式な月日、場所、講習会名、出席者など……。

★大正12年以降昭和11年までの日本におけるハンドボール活動を伝える文献、写真。

★一九三〇年代のヨーロッパにおけるハンドボール活動の文献。

★昭和12年第1回関東選手権に関する資料、写真。

★昭和12年の第1回全日本選手権に関する資料、写真。

★戦前の関東学生リーグ資料、写真。特に昭和16年以降の文献、資料を求めています。

★戦時中のハンドボール活動体験記。

（用紙、字数など自由ですが、今秋10月末日までにお寄せ下さい。）

★戦前は、神戸、横浜の在日外人と交流が盛んでした。その文献特に写真。

★昭和19年までの女子ハンドボール活動に関する資料、写真。

★昭和21～23年に施行されていた「用具配給制度」に関する資料。

第1回のお願いは以上の10項目です。

戦前（昭和19年まで）の資料については、こんな小さなものは役に立たないだろう、と思われるような文献（例えば地方新聞の記事）でも大歓迎です。

また、大きなイベントの入場券（半券）、プログラム、ポスターなどをお持ちのかたは貸与して下さるだけでも結構です。

昭和20年以降の事項に関するお願いは、次号以降に、遂次掲載いたしますが、このような呼びかけの項目に関らず、これは、といった資料をお持ちのかたは、ぜひ協力下さい。

◇

「記念誌」は、硬派な資料ばかりを並べたてるばかりではありません。

例えば、次のようなケースをご存知のかた、お教え下さい。

★男子11人制時代に、50点以上の得点をマークした試合、50点以上の得点差の試合。

★女子11人制時代に、35点以上の得点をマークした試合、35点以上の得点差の試合。

★男女11人制時代で第3延長を終っても0対0の試合。

★男子7人制で、70点以上の得点をマークした試合、70点以上の得点差の試合。

★女子7人制で、65点以上の得点をマークした試合、65点以上の得点差の試合。

★男女、7人制、11人制、正規時間、延長を問わず、両チームの得点合計が90点以上をマークした試合。

★男女7人制で、1対0で終了した試合。

以上をご存知、ご体験なさっているかたは大会名、年月、会場、対戦チーム名、スコアをご一報下さい。

「10年前、東京で70対2の高校女子の試合をみた」といった程度の情報でも結構です。

岐阜協会の担当に岡田重博氏が決定

「記念誌」の大項目の一つに、各都道府県協会史、各全国連盟史があり、その執筆者は各協会、各連盟からの推せんによって、5月10日までに決まりますが、早くも岐阜協会の担当が、同協会のベテラン、岡田重博氏に決定したとの連絡が入りました。

また、全日本自衛隊連盟史と自衛隊ハンドボールの歩みは、同連盟理事の富永劭氏の担当となりました。

情報、資料の提供は、すべて〒150　東京都渋谷区神南1の1（財）日本ハンドボール協会　記念誌委員会まで。ＴＥＬは03－四八一－二三六一です。用紙など自由。

告知板

○ゴールデンウィークには、国際スポーツフェア　'85春
——全日本男子を応援してください——

一昨年から㈶日本体育協会、日本オリンピック委員会、㈱フジテレビジョン、サンケイ新聞社、㈱ニッポン放送の主催で行なわれている国際スポーツフェアに、今回も（'85春、国立代々木競技場）にハンドボール日本男子ナショナルチームと中国男子ナショナルチームの対戦や、トランポリンを使用しての「夢のハンドボール」等多彩なイベントが組み込まれています。会場では、他の種目や子供たちのための楽しい催しも行なわれますので、ぜひ多くの方々のご来場をお待ちしています。

◆５月３日（金）
国際スポーツフェア '85春（国立代々木競技場）
18：00～
・夢のハンドボール
・日本男子ナショナル対中国男子ナショナル
◆５月４日（土）
16：30～（駒沢体育館）
・日本男子ナショナル対中国男子ナショナル
◆５月６日（月）
（横浜文化体育館）
・日本男子学生選抜対中国男子ナショナル

○「ハンドボール競技適性診断の手引き」ができました

日本ハンドボール協会強化部、トレーニング・ドクター群では、現在頂点強化につながる若手選手たちの発掘に重点を置き、ハンドボールプレーヤーの体力チェックを考えて、実施の段階に入ろうと計画しているところでございます。小学生から中学、そして高校、大学と幅広い多くのチームの中からより秀れた選手を得るため客観的な基礎資料を得ることや、さらには、自分の体力は皆なと比べてどうか、自分たちのチームの選手はどんなレベルにあるのか、また、大学選手はどんな程度なのか、全日本の選抜選手はどうか、どれだけの力があればオリンピックの候補になれるのかなどのガイドラインづくりにいろいろな点からこの競技適性診断の手引き書をご利用いただけると思います。

その主な内容としては、３つの段階になっております。第１段階テスト、第２段階テスト、第３段階テストとなっており、日本独特の段階設定としたものです。

※イラストを沢山挿入し、わかりやすくなっています。是非ご利用ください。今後、ナショナル選手の能力調査は、この「手引き」により実施します。

○Ｂ６版、50頁、定価500円

（参考）　目　次

○ハンドボール競技規則（60～63年度版）について

国際ハンドボール連盟の競技規則改正にともない日本ハンドボールの競技規則も改正されました．

Ｂ６版、86頁、定価1000円です。

ご希望の方は、都道府県協会、または日本ハンドボール協会に代金を添えて申し込んでください。

○㈶日本ハンドボール協会への登録について

昭和60年度の登録の時期になりました。登録ご希望のチームは、都道府県ハンドボール協会の指示にしたがい登録手続をしてください。

昭和60年度主要行事日程

◇第26回全日本実業団選手権大会
〈男子〉５月10～12日・愛知県体育館
〈女子〉５月８～10日・大阪市中央体育館
◇第10回日本リーグ前期
（６月８～30日の土、日・各地）
◇第36回全国高校選手権大会
（８月１～７日・石川県小松市）
◇第12回全国高専大会
（８月６～７日・東京駒沢）
◇第５回全国クラブ選手権大会
（８月８～10日・東京立川市）
◇第28回全国教職員選手権大会
（８月８～12日・山梨県塩山市）
◇第14回全国中学校大会
（８月22～25日・北海道函館市）
◇第40回国民体育大会
（10月20～25日・鳥取県境港市）
◇第17回全日本自衛隊選手権大会
（11月上旬・東京駒沢）
◇第10回日本リーグ後期
（11月２～24日の土、日・各地）
◇第28回全日本学生選手権大会
（11月20～24日・山口県山口市）
◇第37回全日本総合選手権大会
（12月17～21日・東京体育館）
◇第５回日本リーグオールスター戦
（１月12日・愛知県体育館）
◇第17回全日本実業団男子トーナメント大会
（２月中旬・宮城）
◇60年度全国高校選抜大会
（３月24～28日・名古屋市）

賛助会通信

賛助会の輪をもっと広げよう

——新会員の紹介をお願いします——

ハンドボールはどうして民放テレビに映らないのか？ハンドボール愛好者がいつも口にする言葉です。そうです。ハンドボールが電波に乗るのは、ＮＨＫ教育テレビの全日本総合とスポーツニュースぐらいです。民放の放映には何千万円という金がかかります。そのためのスポンサーがつくかつかないかは視聴率、観客動員次第です。日本協会でも、スポンサーの交渉はしていますが、どちらがにわとりか卵かはともかく、並行してハンドボールの試合を見ていただくファンを多く集めていただくことが大切です。

賛助会の年度は、暫定的に１月から12月までとなっています。賛助会費収入から機関紙増刷及び送料等の経費を控除した残金は、ナショナルチームの強化や普及事業などの財源にあてられています。

選手強化には相当な金がかかるうえ、ロス・オリンピックで痛感されたように若手選手（高校生から中学生まで）の育成強化にはこれまで以上に金がかかります。

また、日本協会は、小学校に対するハンドボールの普及を当面の最大の課題としています（これが頂点強化にもつながります。）それが親子ハンドボールにつながって、ハンドボールの輪はますます大きくなっていく……。

どうか賛助会の皆さんも、そのような輪の核となって、その輪をもっともっと大きくしていって欲しいと思います。お一人が２名、３名の知人を誘っていただければ、会員の数は直ちに数倍になります。

会員の特典として、特別頒価のビデオの製作監修が具体化しつつあります。「賛助会だより」は、当分この「賛助会通信」で代えさせていただきます。いろいろなご意見をお寄せください。

また、賛助会の幹事（パーティーなどの世話役）を募っておりますので、ご希望の方はご連絡をお待ちしています。

〒150 東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育館内
（財）日本ハンドボール協会賛助会
TEL (03) 481-2361（代）

▶60年度会員

◎特別法人会員

東京重機工業㈱、伊藤忠商事㈱、立石電機㈱、本田技研工業㈱鈴鹿製作所、大崎電気工業㈱、本田技研工業㈱熊本製作所、日新製鋼㈱、呉製鉄所、ジャスコ㈱、中村荷役運輸㈱、㈱日立製作所栃木工場、㈱大和銀行

◎特別個人会員

斎藤英四郎（日本協会・東京都）、荒川清美、武田喜三、大野金一（同）、武内史衛（日本協会公認会計士）、阿部二郎（日本協会・茨城県）、黒田富郎（日本協会・日野市）、村田弘（日本協会・堺市）、柳井文治（日本協会・下松市）、中沢重夫（日本協会・東京都）、幸村稔（名古屋市）、木下浩次（名古屋市）、大西武三（日本協会・茨城県）、金原至（日本協会・氷見市）、三鴨博（立川市）、幡谷祐一（水戸市）、日野博（北九州市）、北川勇喜（日本協会・横浜市）、安藤純光（日本協会・日野市）、滝口三郎（日本協会・東京都）、平井博道（大阪市）、福島富造（富田林市）、富永部（日本協会・水戸市）、田中滋章（日本協会・名古屋市）、木下秀男（佐久市）、北原佐久生（長野県）、油井孝一郎（佐久市）、新津真澄（長野県）、柳沢民弥（日本協会・佐久市）、井田萬三郎（浦和市）、乃村正数（坂出市）、中根武彦（日本協会・亀山市）、藤田八郎（日本協会・熊本市）、入江信太郎（日本協会・茨城県）、滝沢武（栃木市）、山田稔（日本協会・藤井寺市）、岡田卓也（東京都）、高田日呂美（日本協会・東京都）、渡辺慶寿（日本協会・宇都宮市）、岡前義春（日本協会・府中市）、嶋田新太郎（氷見市）、川上整司（日本協会・狭山市）

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二三九号
昭和四十年六月七日 昭和六十年三月二十五日 印刷
第三種郵便物認可 昭和六十年四月 一 日 発行
東京都渋谷区神南一ー一ー一
電話 代表(481)二三六一
振替 東京 六ー一五八三四八番
編集兼発行人 大野金一
定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)